

以前、私は鳥の専門病院で働いていましたが、診察の時点でかなり具合が悪くなっている鳥が多くいました。それは一体どうしてなのでしょう

か？
理由の一つとして、鳥は群れで生活することが多い点が挙げられます。群れに置いていかれたり、天敵に襲われたりしないように、具合が悪くても元気なふりをする性質があります。そのため、飼い主が気付く頃には、元気なふりができなくなるほど症状が悪化しているケースが多いのです。では、飼い主が早い段階で鳥の体調変化に気付くには、どうすればよいのでしょうか？ まず、定期的な体重測

あんしんペットライフ

130

鳥の体調変化に気付くには？

定が必要です。しっかり食べているように見えても、体重が減少していれば食事量が減っていることが考えられます。小型鳥の場合、1gの変化でも大きな異変につながっていることがあるので、注意が必要です。

体重は家庭にある調理用のはかりで量れます。「鳥が飛んでしまってうまく量れない」という声をよく聞きますが、はかりの上に餌を置いて誘ったり、鳥を小さなプラスチックの容器などに入れたりするといいでしょう。容器の重さはあらかじめ引くなどし

ておいてください。

また、便の数や大きさ、色も欠かさずチェックするようにしましょう。普段より数が減ったり、小さかったりする場合は、食べている量が減っている可能性があります。食事が少ないときは、胆汁の色素(緑色)が薄まらず、普段よりも濃い緑色の便が出ます。

体の小さな鳥の健康を守るには、わずかな変化を見逃さないようにすることが大切です。動物病院で定期的な健康診断を受けると安心です。

(アニコム損保

獣医師 渡邊賢介)